

これからの（次世代）健診を考える

2023. 9.9 (sat) | 12:30-13:20

第 4 会場 (虎ノ門ヒルズフォーラム 4F ホール B)

参加登録は
こちらから



座 長

岩瀬 愛子 先生
(たじみ岩瀬眼科)

座長のことば

日本での視覚障害の数は高齢化に伴い 2030 年には 200 万人に達すると推測されています。健康寿命の延伸のために視覚の維持は必須であり、視覚障害の予防、減少のためには緑内障を中心とした慢性眼疾患を早期に発見し、手遅れになる前に早期治療開始が重要です。高度な視機能障害につながる疾患でも初期には自覚症状が出にくいことが多いと言われ、そのためにも疾患の早期発見に向け定期的な眼科健診（検診）が欠かせません。また近年、緑内障に対する診断と治療の進歩は目覚ましく、新たな診断および治療手段の選択肢が増え、臨床において導入されています。

そこで、本セミナーでは、“これからの（次世代）健診を考える”と題して、2 人のエキスパートの先生方に症例を提示いただきながら最新の知見を頂戴いたします。野呂先生（東京慈恵会医科大学）には、“ここまで進んだ！緑内障検診の最前線”、三木先生（愛知医科大学）は、“画像診断による緑内障スクリーニングの未来”と題してご講演いただきます。多くの先生方のご参加をお待ちしております。



演 者

野呂 隆彦 先生
(東京慈恵会医科大学 / 麻生総合病院)



三木 篤也 先生
(愛知医科大学)

“ここまで進んだ！
緑内障検診の最前線

“画像診断による緑内障
スクリーニングの未来